|  |  |
| --- | --- |
| タイトル | マニュアル作成に生成AIは使えるのか？ |
| キーワード | **生成AI** |
| 執筆者 | 重岡 |
| メタディスクリプション  ※検索時に出る解説文  （3行：120文字以内　序章を短縮させるとよい） |  |
| ■見出し１ |  |
| ■見出し２ |  |
| ■見出し３ |  |
| ■見出し４ |  |
| ブログの書き方  ルール | タイトル　→　「キーワード　〇〇」を**タイトルの最初に**入れること  ★序章　→　本ブログを読んでもらえるかどうかここで決まる、**イントロ。**  ■見出し→**「キーワード　〇〇」**を入れる**目標：半分以上**（見出し４つなら２つ以上）  本文　　　→　※見出しに合った内容であること  ※画面サンプルや図表は自由にいれてよい（わかりやすくなるので入れた方がいい） |
| ブログ文字数：目標 | ※上記までの約500文字は左下の文字合計マイナスすること。  ※ブログ目標文字数　2500文字から3000文字 |

■序章

■見出し１

■見出し２

■見出し３

■見出し４

マニュアル作成に生成AIは使えるのかということについて紹介していきます。

学校によっては、ChatGPTの使用を禁止していたり、規制をかけている学校もあります。

生成AIに2025年度の共通テストの英語（リーディングとリスニング）、国語、数学（数学I、数学Aと数学Ⅱ、数学B、数学C）、社会（歴史総合、世界史探究と歴史総合、日本史探究）、理科基礎（地学基礎と生物基礎）、情報Iの6教科8科目

生成AIが現在では、誰でも簡単に使えます。生成AIという言葉が広がったのは、OpenAI社が開発したChatGPTではないでしょうか。

では、ChatGPTはいつ誕生したのでしょうか。

ChatGPTに質問してみました。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション, メール

自動的に生成された説明

2022年にリリースされたため、ChatGPTを使ったことがない人もいるはずです。

しかし、ChatGPTを使ったことがない人でもGoogleで検索すると、一番上にAI(Gemini)の回答が表示されるのを見たことがあるのではないでしょうか。

また、Edgeを使っている人であれば、AI(copilot)の回答を目にしたことがあると思います。

最近は記事から回答を探さなくても、すぐにAIが回答を生成するため便利です。

そんな便利な生成AIを活用してマニュアル作成できるでしょうか。

マニュアル作成には

ダイテックでは製造業のマニュアル作成改善を検討する際に、考慮すべきポイントをまとめた入門資料「安心と安全をカバーするマニュアルづくり　３つのポイント」「なぜ読むマニュアルから『見る3Dマニュアル』が増えているのか？わかるガイド」をご用意しました。本資料は、マニュアル作成改善をしたい方には必見の資料です。ぜひダウンロードいただき、ご覧ください。